

# 施政方針

令和7年市議会第1回定例会(3月定例会は、2月26日(水)から3月21日(金)まで開かれ、初日に佐々木市長が施政方針を述べました。ここでは、内容の一部を抜粋して紹介します。(全文は市ホームページに掲載しています。)

全文はこちらから



## 「まちづくり総合計画」に掲げる8つの基本目標における主要施策

### 1 復興の確実な推進と誰もが安心して暮らすまちづくり

#### ●道路整備

復興事業により整備された道路網について、日常の維持管理を適正に実施し安全な通行環境の確保に努めるとともに、河川については、横田水路の改修事業や川原川および小泉川の整備、気仙川の河川改修や河道掘削などを推進してまいります。

#### ●防災集団移転促進事業

土地の購入などの助成を行うとともに、住宅団地の空き区画の解消に向け、被災の有無を問わず市内外の住民も含めた一般分譲を推進し、取得した移転元地の適正な維持管理に努め、広く貸付や譲渡の周知を行い、土地の有効活用を図ってまいります。

#### ●企業誘致の推進

積極的な情報発信、情報収集を行うとともに、既存誘致企業や新規で立地する企業に対し企業立地奨励関係補助金を交付することにより、本市での企業立地を促進してまいります。

#### ●脱炭素

環境省「脱炭素先行地域」の選定を受け、被災跡地の有効活用を兼ねた宮農強化型太陽光発電の設置、木質バイオマスボイ

### 2 快適に気持ちよく暮らすまちづくり

#### ●市民の安全・安心・快適な生活環境を支えるための道づくり

広田町の高見線などの生活道路の整備を進めるほか、横田町の狩集久連坪線など通学路交通安全点検により改善が必要とされた路線の整備を計画的に進めてまいります。

また、市道橋の補修や高畑相川線の舗装など、損傷している道路構造物の補修のほか、既設市道における除草などを行い、道路のメンテナンスに努めてまいります。

ラーの普及を通じた森林資源の利用促進、ブルークレジットを活用した藻場の再生などの取り組みにより、脱炭素による一次産業の新たな展開を図るとともに、新たな雇用創出としての電気保安人材の育成を図ることとしております。

#### ●コミュニティ活動を生かした協働によるまちづくり

矢作地区コミュニティセンターの移転新築に着手するとともに、横田地区コミュニティセンターの改修整備を予定しております。

### 3 安全・安心で環境にやさしいまちづくり

#### ●地域防災力の向上

津波および洪水・土砂災害を想定した避難訓練の実施や避難所運営などの機能別訓練の実施と併せ、「消防・防災フェスタ」などのイベントを開催し、市民の防災意識の向上を図るとともに、自主防災組織リーダー研修会の開催や防災資機材などの整備に対する補助金の活用など、各種支援を行ってまいります。

#### ●災害への備えの充実

引き続き、地震・津波対策の専門家による津波避難計画策定アドバイザー会議を開催し、最新の科学的知見を取り入れながら、車の利用も考慮した津波避難シミュレーションに取り組み、本市の地域特性に合わせた津波避難計画の作成を進めるとともに、避難所の機能強化に向けて防災資機材を充実させてまいります。

#### ●消防・救急体制

令和8年4月からの運用を予定している「いわて消防指令共同化事業」を推進し、119番通報の仕組みの違いや通報要領などについて周知を図ってまいります。

#### ●自然環境や生活環境の保全

環境負荷の少ない新エネルギーの利用を促進するため、脱炭素先行地域内

### 4 子どもたちを健やかに育むまちづくり

#### ●子育てに関連する経済的支援

3歳児以上の保育所、保育園の副食費や第2子以降の保育料の無償化を引き続き実施するとともに、ふるさと納税を活用した市独自施策である子育て応援クーポン券を交付することなどにより、子育て家庭の負担軽減を図ってまいります。

#### ●妊産婦から子育て期までの様々な相談支援体制の充実

不妊治療への支援や5歳児健康診査を実施し、産後ケア事業の拡充を図りながら、安心して出産育児ができる環境を整えてまいります。

#### ●子どもの遊び場

市民の代表者などからなる検討会により具体的な検討を進めており、県予算の活用も視野に、子ども遊び場の整備について段階的に進めてまいります。

### 5 ともに支え、健康に暮らすまちづくり

#### ●共生のまちづくり

パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度により、個性を持つ個人として、誰もが多様性を認め合える社会の実現に向けて取り組むとともに、ユニバーサルデザインのお店認証制度を活用した「みんなにやさしいまちづくり・お店づくり」を推進してまいります。

#### ●市内の介護・障がい施設で働く職員の確保

奨学金を返還している職員に対し、返還に係る費用の一部を引き続き補助することにより、離職の抑制や新規就労者の確保に努めてまいります。

#### ●健康づくりの推進

誰もが自分の体力や身体能力に応じてスポーツを楽しめるよう、障がい者スポーツやニュースポーツなどのスポーツ・レクリエーションの情報を発信するとともに、きっかけづくりとなる機会の提供と障がい者スポーツなどの理解促進を図ってまいります。

# 令和7年度

東日本大震災から14年を迎えた本市は、国内外の多くの皆様のご支援をいただきながら、市民の皆様が一体となって困難を乗り越え、今日まで復興に取り組んでまいりました。改めて心より感謝申し上げます。

ハード面の復興関連事業は本年5月にオープンする「旧吉田家住宅主屋」の完成をもって終了し、また国が定めた第2期復興創生期間も令和7年度をもって終了することで、復興事業は一つの節目を迎えますが、今後とも国に対し被災地の現状に即した対応を求め、復興が円滑に進むよう努めてまいります。

近年は、著しい物価高騰や経済の長期低迷により、非常に厳しい市民生活が続いているだけでなく、人口減少、少子高齢化が進行し、地域の存在をも危惧する「消滅可能性自治体」「課題先進地」という言葉も使われている状況にあります。こうした状況に対応するため、令和5年度には「まちづくり総合計画後期基本計画」を策定し、その着実な実施に取り組んでいるところであります。

こうした中、私が市長に就任してから2年が経過しました。復興の先を見据え、本市が将来にわたって発展するよう中長期的な視点で産業の振興、人

材の育成、福祉の充実などについての具体的な方向性を示すことも重要であると考え、選挙時の公約のみならず、必要な取り組みを進めてまいります。本年1月1日、陸前高田市は市政施行から70年目を迎えました。先人のご努力とご功績に敬意を表するとともに、市の発展に「尽力いただいた皆様、そして市民の皆様」に心より感謝申し上げます。この記念すべき年に際し、記念式典を開催したいと考えており、具体的な内容は、今後できるだけ多くの市民の皆様の見解を伺うなどとして、検討してまいります。

本年は、本市の貴重な歴史的建築物である「旧吉田家住宅主屋」を活用しながら、市政施行70周年、さらには本市の歴史、文化を市内外の皆様に伝えてまいりたいと考えております。また、社会情勢の変化を的確に捉え、福祉や教育、防災・減災など市民生活に不可欠な分野において、質の高い行政サービスを提供していくとともに、将来を担う子ども、若者、子育て世代への支援、脱炭素、SDGsおよびDX推進に向けた取り組みなど、本市のさらなる発展に向けた動きも加速させながら、地域課題の解決に取り組んでまいります。



#### ●公共交通

地域公共交通計画に基づき、市内路線や地域間幹線の運行を支援するとともに、新たにA1を活用したオンデマンド交通の実証を始めるなど、公共交通の利便性、効率性の向上を図ってまいります。

#### ●水道・下水道事業

計画的な漏水調査、老朽化した水道施設の更新と、耐震化工事、水質の安定化を図るほか、横田町金成地区浄水施設の建設、米崎町佐野地区簡易給水施設の上水道接続工事に取り組むとともに、中長期的な経営の基本計画である水道事業経営戦略の改定に取り組んでまいります。

#### ●住宅

木造住宅の耐震診断、耐震改修に対する助成による耐震化の促進を図るとともに、空家等対策計画に基づき、空家の有効活用や周囲に悪影響を及ぼすような空家の発生予防に努めてまいります。

また、工事費用の一部を地域商品券で助成することにより、住環境の向上および地域経済の活性化を図るほか、住宅の省エネ改修などに要する経費の

一部を助成することにより、住宅・建築物のカーボンニュートラルの実現に努めてまいります。

### 3 安全・安心で環境にやさしいまちづくり

#### ●地域防災力の向上

津波および洪水・土砂災害を想定した避難訓練の実施や避難所運営などの機能別訓練の実施と併せ、「消防・防災フェスタ」などのイベントを開催し、市民の防災意識の向上を図るとともに、自主防災組織リーダー研修会の開催や防災資機材などの整備に対する補助金の活用など、各種支援を行ってまいります。

#### ●災害への備えの充実

引き続き、地震・津波対策の専門家による津波避難計画策定アドバイザー会議を開催し、最新の科学的知見を取り入れながら、車の利用も考慮した津波避難シミュレーションに取り組み、本市の地域特性に合わせた津波避難計画の作成を進めるとともに、避難所の機能強化に向けて防災資機材を充実させてまいります。

#### ●消防・救急体制

令和8年4月からの運用を予定している「いわて消防指令共同化事業」を推進し、119番通報の仕組みの違いや通報要領などについて周知を図ってまいります。

#### ●自然環境や生活環境の保全

環境負荷の少ない新エネルギーの利用を促進するため、脱炭素先行地域内

### 4 子どもたちを健やかに育むまちづくり

#### ●子育てに関連する経済的支援

3歳児以上の保育所、保育園の副食費や第2子以降の保育料の無償化を引き続き実施するとともに、ふるさと納税を活用した市独自施策である子育て応援クーポン券を交付することなどにより、子育て家庭の負担軽減を図ってまいります。

#### ●妊産婦から子育て期までの様々な相談支援体制の充実

不妊治療への支援や5歳児健康診査を実施し、産後ケア事業の拡充を図りながら、安心して出産育児ができる環境を整えてまいります。

#### ●子どもの遊び場

市民の代表者などからなる検討会により具体的な検討を進めており、県予算の活用も視野に、子ども遊び場の整備について段階的に進めてまいります。

### 5 ともに支え、健康に暮らすまちづくり

#### ●共生のまちづくり

パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度により、個性を持つ個人として、誰もが多様性を認め合える社会の実現に向けて取り組むとともに、ユニバーサルデザインのお店認証制度を活用した「みんなにやさしいまちづくり・お店づくり」を推進してまいります。

#### ●市内の介護・障がい施設で働く職員の確保

奨学金を返還している職員に対し、返還に係る費用の一部を引き続き補助することにより、離職の抑制や新規就労者の確保に努めてまいります。

#### ●健康づくりの推進

誰もが自分の体力や身体能力に応じてスポーツを楽しめるよう、障がい者スポーツやニュースポーツなどのスポーツ・レクリエーションの情報を発信するとともに、きっかけづくりとなる機会の提供と障がい者スポーツなどの理解促進を図ってまいります。

